

提出された議案

○議案第 68 号 加西インター産業団地整備工事 (1-2 工区) 請負契約の締結について

令和元年 10 月 18 日に制限付一般競争入札に付した加西インター産業団地整備工事 (1-2 工区) について、その予定価格が 1 億 5,000 万円以上となったので、議会の議決を求めるもの。

進出企業が予定通り工事を完了できるように着工するため、及び加東土木事務所の加古川河川堆積土砂撤去工事等で発生する残土を活用できる有利な機会を逸しないために、今臨時議会での上程となりました。

- ・契約金額 5 億 7,200 万円
- ・請負業者 小芦・双葉産業特定建設工事共同企業体
- ・工期 着手 議会の議決があった日 完成 令和 3 年 3 月 31 日
- ・工事内容 道路工事、排水施設工事、調整池工事、造成工事

質 疑

問 1-2 工区 9.35 ヘクタールの工事内容は。

答 道路工事は、市道山枝殿原線 192 メートルに幅員 2.5 メートルの歩道を設置し、地区内には、施工延長 675 メートル、幅員 6 メートル及び歩道幅員 2.5 メートルの補助幹線道路を新設します。排水施設工事は、補助幹線道路の歩道下にボックスカルバートを施工延長 424.5 メートルで予定しています。調整池工事は、工事区域内に降った雨水を一時的に貯留し雨水の流出を抑制する目的で、計画貯水量 5,466 立方メートルを計画しています。造成工事は、工区全体において盛り土工事を予定しています。中央部分は工場が建設されるので 1 段低い形で仕上げます。

問 造成工事に必要な土について。

答 造成工事の必要土量は 11 万 2,700 立方メートルを計画しています。令和元年度工事では、必要土量の半分にあたる 5 万 6,350 立方メートルについて、加東土木事務所多可事業所の協力により、加古川の河川掘削残土を搬入する計画です。



問 1-2 工区内の二又遺跡の発掘調査の状況は。

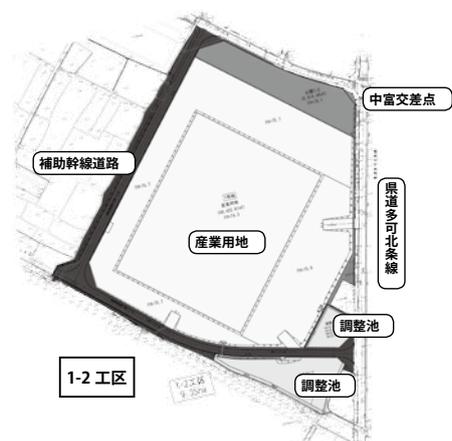
答 弥生時代の一般の集落跡で、遺跡範囲は 3 万 5,000 平方メートル以上と推定されることがわかりました。工事計画の変更が難しく遺跡の現状保存は困難と判断し、市道及び調整池の建設予定地など工事によって遺跡が失われる約 4,500 平方メートルについては、令和元年度に発掘調査を実施して記録保存とします。

問 当初の予算では工事費として、令和元年度 4 億 5,360 万円、令和 2 年度 6 億 8,040 万円で合計 11 億 3,400 万円であるが、今回 5 億 7,200 万円の契約となり随分少なくなっている。その要因は。

答 当初は、どういう形で売却が進むのか不明な状況で積算しましたが、1 社が全区画を使用することになり配置計画を見直したことで、さらに、盛り土に公共残土が活用できることから設計金額が 9 億円となりました。また、低入札案件ということで調査したところ、請負業者は工事現場近くに本社がある地元業者のため、事務所経費等は一切かからないこと、資材置き場等も本社周辺にあり費用が軽減されること、搬入土は自社のダンプ等を活用し安く搬入できるとのことでした。

問 令和元年度と令和 2 年度の造成工事費として 5 億 7,200 万円という請負金額だが、令和 2 年度にふえる可能性は。

答 請負金額 5 億 7,200 万円は、今現在の設計に対する金額です。公共残土の性状等を確認の上搬入するため、その土量については増減することが考えられます。また、土木工事では周辺部の取り合い部分で変更が生じてくると考えており、そのような場合は変更契約で対応したいと考えます。



※ 採決の結果、全会一致で可決しました。